



▲芸能まつりの最初を飾った神楽（奥州相馬赤坂神楽団）



▲宝財踊り（上飯樋）



▲手踊り（原町市馬場地区保存会）



▲同じ田植え踊りでも、土地によって様々です
（二本松市石井芸能保存会）

郷土の伝統受け継いで 飯樋地区で芸能まつり

飯樋ふるさと芸能まつりは、2月15日に飯樋小学校体育館で行われ、地元的神楽団や芸能保存会8団体のほか、原町市と二本松市からも3つの団

体に参加し、合わせて11団体が神楽や田植え踊りなどを披露しました。

これは、郷土芸能の継承・保存を目的に飯樋文芸復興会（細山利文会長）が県のサポート事業の補助を受けて行ったもので、今回で3回目。会場には、畳敷きの特設ステージが用意され、地元住民や芸能愛好者など約400人の観客が詰め掛けました。

この日は、赤坂神楽を先頭に11の芸能が披露され、観客らは、踊り子たちの見事な舞いや、ひよっとこの滑稽なしぐさに大きな拍手を贈っていました。



▲八和木の田植え踊り、子供たちも踊りに参加しました



▲▼八和木の田植え踊り、めでたい七福神も



▲宝財踊り（原町市大獲地区民俗芸能愛好会）



▲手踊り（外内）



▲はなづか太鼓



▲宮中神楽のひょっこ